市政だより

1951. 12. 20　(月刊)　NO 32

「廣報」は市民の光明

総司令部九州報道部西坂報道官を囲む

廣報座談会

とき　昭和二十六年十月九日　午後一時
ところ　市廳内市長室
語る人　総司令部民間情報教育局　九州報道部報道官　西坂恒男氏
縣廣報渉外課主事　泊輝義氏
鹿児島市長　勝目清氏
市教育部長　池松良雄氏
市社会教育課長　堀之内源次郎氏
市社会教育課文化係長　野村宗夫氏
市社会教育課廣報擔当者　三ツ石和友氏

想像外に大きな ルース台風の災害

西坂　本日はなにかと御多忙の所お伺ひいたしまして失禮いたします。先日のルース台風では当市は大変な災害を蒙られましてその復旧は大変な御苦労のこととお察し申上げます。

市長　有難うございます。ごらんの通りの大変な目にあいました。何しろ当市はよそと違いましてひどい戦災を受けまして市民も無理をして形ばかりの復興をすましたばかりの折に運悪く此度の台風にぶつつかりました訳で（窓外の家並を指しつゝ説明）ごらんの通り家にしましても本木葺きの家がとても多いのがその証拠でありまして、これが殆んど吹き飛ばされました訳で、他縣で想像される以上に被害の大きいのはこのような点と海岸地帯一帯に押寄せた高潮の不意の來襲に原因しているのであります。

西坂　まことに想像以上でありまして來て見てその惨状に驚いている次第であります。復旧には巨額の費用が必要と存じますが市長さんにはどのようにお考えでしょうか。

市長　貧弱な当市の財政では自力で復旧など全然見込みはありませんので、政府に強力に折衝して国庫補助と起債を仰いで所要の経費は是非とも獲得したいと考えております。

断行せよ!! 行政事務の再配分

西坂　講和後の地方自治体の在り方について市長さんのお考えは？

市長　私はいはば急進論者でありまして、早くから行政事務再配分の実施を提唱してまいりました。思うに日本の地方自治は自らの歴史をとおして確立されたものではなく、アメリカから與えられたものでありますからどうしても基盤が弱いし、又住民の意識も低い訳でありますが、今後は行政事務と財政の再配分なくしては決して地方自治は確立されないと確信いたします。このことは非常に大切なことで府縣などという組織は私は不要と考えております。（『縣の方を前にこのようなことを申して』と会釈、縣泊主事苦笑）アメリカに於ても日本の縣という行政制度は理解できないと見えましてアメリカの地図や書籍を見ますと、Ken（Intermediate government）とわざ〳〵註釈を加へているような有様です。（一同哄笑）要は市町村の自治が確立されれば実際縣など不要なもので、縣あるがために却つて事務を複雑にし　又いつまでたつても市町村は一人歩き出來ないのであつて、この際　親がかりで　いつまでも一人歩きさせないような現在の組織を改めて、信頼して任してさえ下されば結構市町村はやつていけるものと私は確信いたします。

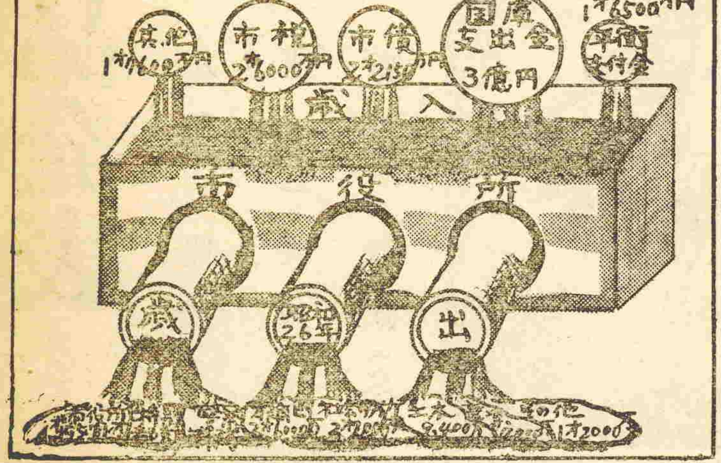
西坂　町長さんのように進歩的なしかも明確な理論を持たれた方は私としては始めてで大変嬉しく心強く存じます。私もこれまで沢山の都市を歩いて当局の方々ともいろいろ話し合つてまいりましたが、行政事務再配分どころかシヤウプ勧告さへ知らない人が多くて、却つてABCの手ほどきから私が説明してあげるというような酷い所が多うございます。

一般に申しまして地方自治を確立する基盤とも申すべき大切なこの行政事務再配分に対して市町村当局はもちろんのこと住民の方々も関心は薄く殆んど理解されていないように見受けますこれでは何のための地方自治か私にはサツパリ分りません。

市長　これは西坂さんに是非お願い致しますが、アメリカが占領業務を終られて引揚げられるまでに是非この行政事務再配分を取上げて具体化されて頂きたいのですが、繰返して申しますが行政事務とその裏付けとなる財源の再配分なくしては、折角こしらえて頂いた地方自治も結局駄目になるのではないかと思います。

西坂　私も極力努力いたしますが今日では総司令部としましても指令なり覚書なりも努めて出さないよう、国内のことは日本自体のものとして解決するようにしておりますから、市長さんにおかれても廣報を充分徹底して行政事務再配分とはどんなものか、それが必要であるかなど市民の隅々までよく認識させて、下から盛りあがる力で是非とも実施にまで漕ぎつけるよう御努力下さい。

市長　御尤もです。私の微力のつづく限り頑張ります。



今後の廣報活動のあり方について

西坂　鹿児島市は他の都市と違つて、社会教育課で廣報を所管して居られて、九州でも珍らしい行き方をされておりますが、これには何かお考へがあつてのことと存じますが？。

市長　私は廣報を重視しておりましてその過渡的措置として四年前に廣報をとりいれた社会教育課の新設を提案しましたが当時は時期尚早との理由で否決されまして、今年の四月になつて漸く実現を見た訳であります。

西坂　來年になりましたら教育委員会も当然設置されることと思いますがその際も現在のシステムでやられるお考えですか。

市長　どうするかその具体案は研究中で今のところ確定しておりません。仙台市の全国都市問題会議でも第一議題として対市民活動（廣報）があげられていたようです。会議に出席した中村助役の報告を聞いて構想を練りたいと考えております。

西坂　今日では廣報は大体の都市において廣報課、総務課、市長室などの所管として独立して活溌に活動してをりますが、先の九州廣報会議でも廣報活動を充実するためには市長直屬の機構としたらという意見が出ましてその是非について活溌な論斗はされました。これは会議に出席された三ツ石さんは良くその当時の模様を御存知のことと思ひます。そうでしたね―と三ツ石氏の方をふりむく…。

池松教育部長　現在当市の廣報主管者は三ツ石君が一人でやつておりますが、教育委員会が設置された場合にどうするかということについては市の予算、機構などの関係もありますので仲々難かしい問題で鋭意研究中でございます。唯今の市長直屬云々の問題も選挙その他の場合器用される弊害もありますので、私としましては廣報の本來の使命は白紙中立の立場に在つて、市民の廣報としての正しい行き方が妥当と存じます。

堀之内社会教育課長　私は着任後日も浅いのでハツキリ申しあげられませんが此の問題については今後あらゆる角度から研究したいと存じます。

野村文化係長　この問題は長崎の九州廣報会議でも『今後の廣報の在り方』に関連して相当論議されましたが結局各市の実状、規模なりに應じて自主的に解決するのが妥当のように決論されたように報告を受けておりますが。

西坂　そうです。要するに廣報は市民のための廣報でなければならないと存じます。市長直屬の所は一寸逸脱して市長さんの廣報になつているような嫌いがないでもありません。

末端へ滲透するには わかり易く書くこと

西坂　廣報技術について、市民の末端への滲透がうまくいかず各市とも頭痛の種らしいのですが

市長　今後の廣報活動は市政だよりは勿論ニュースカー、映写機、録音機などの媒体を借りてやつた方が効果的と存じます。ニュースカーの場合市民は立つて仕事をしながらでも自然と耳に入るんですからね。此度の固定資産税の台帳縦覧のときなども、ニュースカーを市内の隅々まで廻はして呼びかけましたところ大変結果が良かつたようで、目で見るより直接耳を通し生の声で報らした方が効果があるようです。

それともう一つ、これは私が助役をやめて、暫く山形屋デパートの常務をしていたとき感じたのですが、役所の出す〃公文〃なり〃市政だより〃などといつた類が随分固苦しくしかも難かしくて、大抵の人が見た丈で読まうとしないんです。これぢやあ何のために出しているんかさつぱり分りません。役所の思いあがりで全く市民とかけ離れて役所は浮いた存在ですね。この事は廣報をやるものは特に注意しなければならないことです。私は市民の中でも知識階級の人々は新聞なりラヂオなりで市政には充分熟知のことで廣報の対照として除外すべきと思います。そしてそれが出來ない市民の層に対して廣報はつゝこんで行かなければいけない。それにはこの人達が大体小学六年位の智識程度であることを考えて平易に分りやすく、〃市政だより〃は書かねば何の役にも立たんとしよつちゆう力說しているのですがね。

野村　実際に〃市政だより〃を書く人は、市長さんのおつしやるように平易に書けといへば、何か自分の智性を下げる様な意味にとつて、とても嫌がりましてね。唯今市長さんのおつしやつたことができるような人はその上の役になつちまうんで、これはむづかしい問題ですよ。

三ツ石　いや全く風当りが酷いですね。（一同哄笑）

私も全然同感でして、一つの記事にしても、あらゆる角度から検討して如何なふうに書いたら市民の方に分り易くしかも興味を持つて〃市政だより〃を愛読して頂けるか責任者としていつも頭を悩ましております。印刷をすまして出來上つたものは御覧の通り平々凡々たるものでその度毎に嫌な氣持になるんですが、それまでの編輯の苦労といつたらありませんね。

要するにその内容に精通しなければ分り易くなど決して書けるもんぢやありません。生つ噛りが却つて他処からの受賣りをむつかしく書いているようです。これは嘘のようですがヤサシク書くことがどんなに難しいか経験した人でないとわからないですね。今後も勉強して市民に親しまれる〃市政だより〃に育て上げましょう。

西坂　鹿児島市は一寸レベルが高いからそうでせうが、私は小学三、四年程度の学力が九州各市の平均ではないかと存じます。文章にも知解の文章と情感の文章とございまして、廣報としては情感の文章で一見してわかり易いように平易に興味深く書くことが大切ですね。それには漫画なり、絵図なりを適切に使つてやればより効果的と存じますが。

市長　そうですね、市の財政白書とか予算の説明とかを市政だよりにのせる場合難かしい文章と複雑な数字を並べたててもだれも読みませんからね。

ハツキリ記憶しませんが、どこかの市政だよりに市の歳入、歳出を水道管にたとえて絵で示してとても分り易く面白いのがありましたがあのような行き方でないと駄目ですね。（別図をごらん下さい）

それともう一つ大事なことは先刻申しあげました『行政事務再配分』の問題にしても一回記事を出した丈で能事終れりとせず経続的に繰返しく呼びかけていく根氣がなければ、決して輿論を喚起することは出來ませんね。経続的に根氣よく市民に訴へる熱意が欲しいですね。

廣報の運営は 廣報委員会で

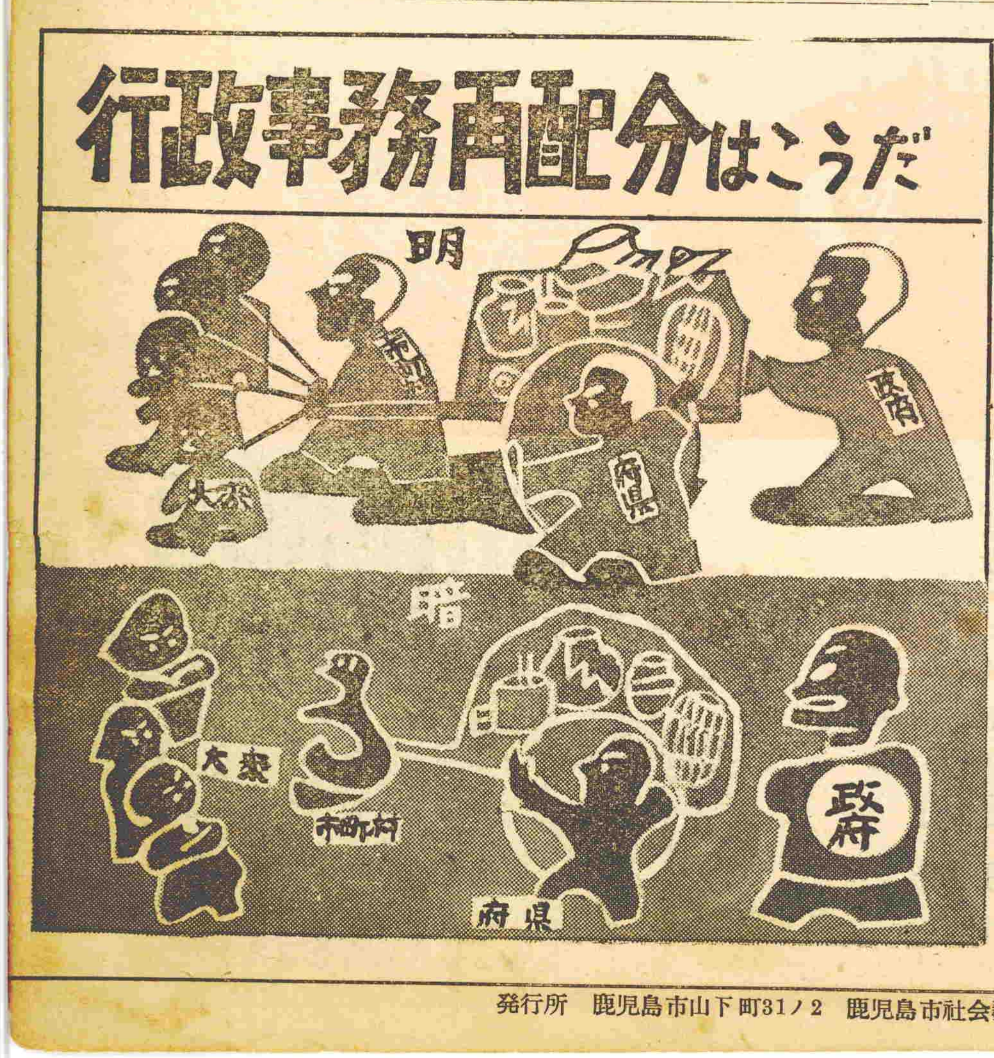
西坂　私は廣報を運営して行く上において、諮問機関として廣報委員会を設置するようお奨めしたいのですが、この委員会をうまく運営することによつて今まで申しましたような廣報の隘路も自然と解決するのではないかと存じます。

この廣報委員会と申しますのは純粋の民間人の中から新聞、放送、文化、政治、経済等の専問家を最大六―七名程度選んで委員になつていただいて、月一回委員会を開いて翌月の市廣報の編集打合せをするようにして、その席で編集のプラン、内容などを決定すればこの線に沿つて仕事を進めれば良い訳で立派な成果を期待できると信じます。

池松　一寸西坂さんにお伺いしますが、おつしやるような廣報委員会では委員の方々は有数の知識人揃いということになり、その委員会で決定された線は一段とレベルの高いものになつて、却つて市民の隅々まで徹底しないという逆現象が考えられますがこの点はどうお考えでしょうか。

西坂　勿論委員の方々は公職にあつて相当多忙な方々ですから毎月集まつて頂くのさえも大へんむづかしいことです。然しその方々が夜間家庭に居られるときなど自分の住まつていられる近所の人達から末端の市民の意見は汲みとられますから委員会ではそれを発表される訳で部長さんのおつしやつたような心配は除かれると存じます

野村　では時間も大分経過いたしましたようですから本日はこれで終りたいと存じます。尚最後に申添へておきますが來春の九州各市廣報会議は鹿児島市でやることに決定いたしましたからその節は何卒よろしくお願いいたします。



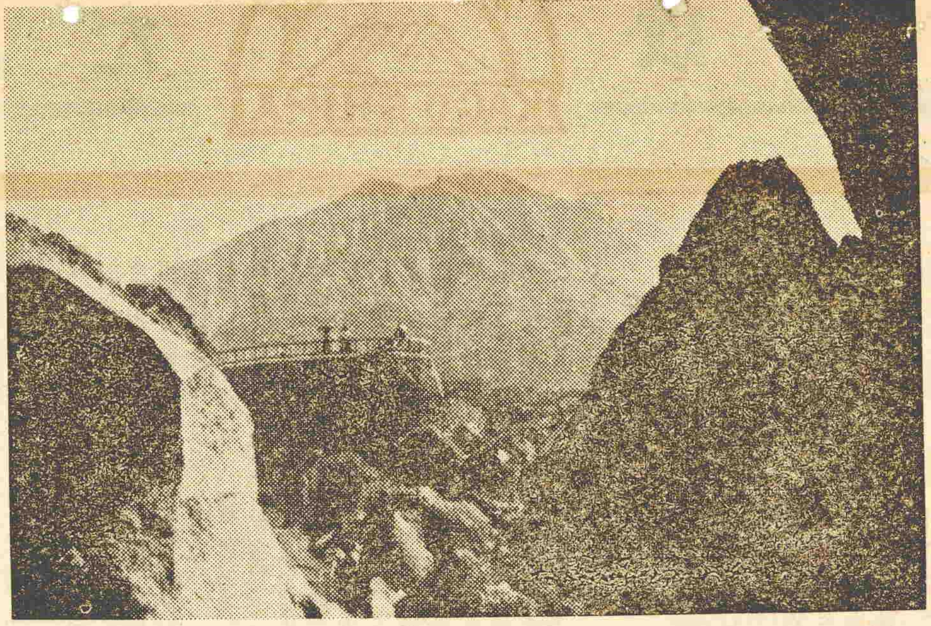
納税のお知らせ

固定資産税 土地家屋償却資産	4期	自十二月十五日 至十二月二十八日
都市計画水利地益税	全期	自一月十五日 至一月三十一日
市民税	4期	自一月十五日 至一月三十一日

発行所　鹿児島市山下町31ノ2　鹿児島市社会教育課　（電3232）　印刷所　南日本新聞社印刷部

櫻島観光写眞入選作品発表

特選　展望台　鹿児島市西千石町　新村豊氏（上）
准特選　櫻島の乙女　同　清一夫氏（下右）
入選第一席　伸び行く櫻島　同　新村豊氏（左下）

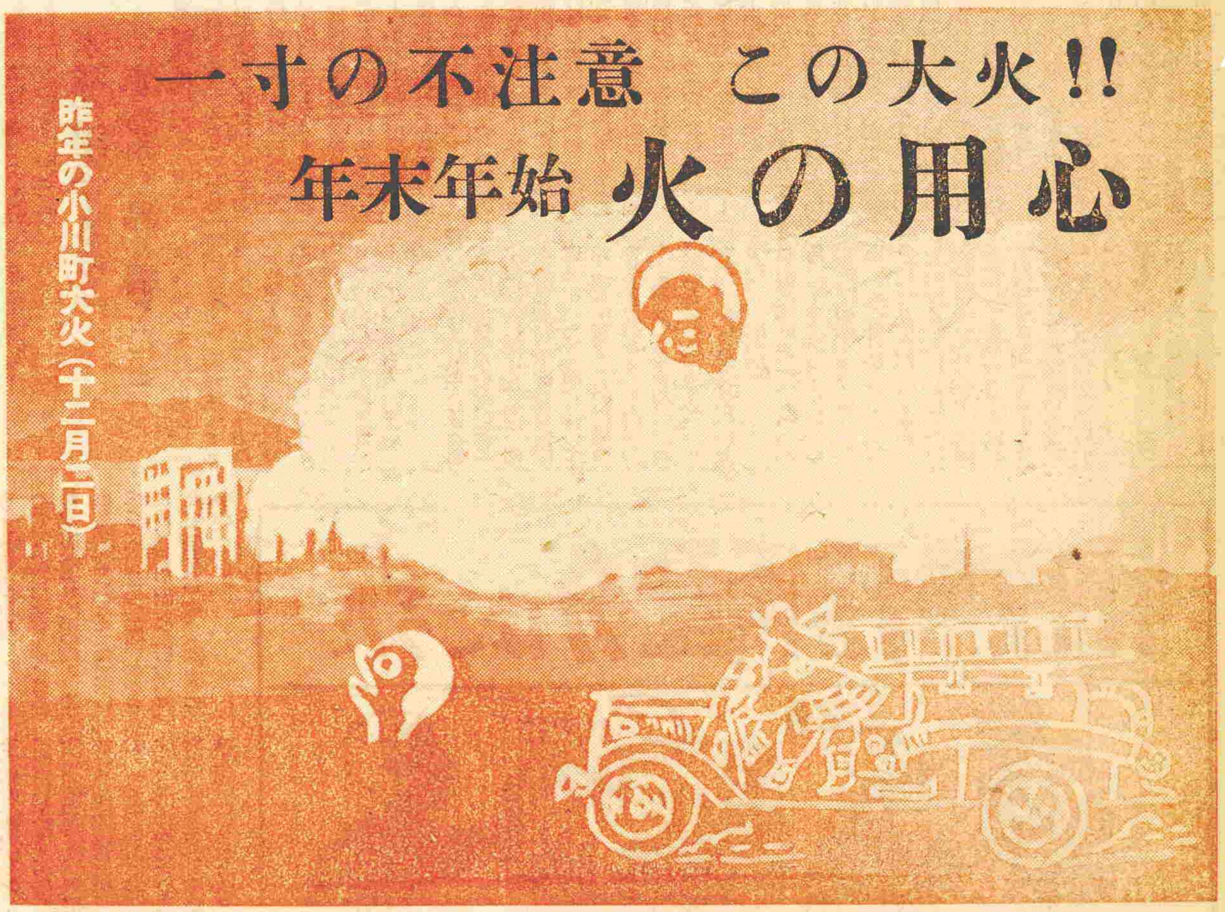


贈る感謝の花束

市民レコード教室2周年の夕

〃巨星メニユーヒン〃を鑑賞

鹿兒島市教育部主催で一昨年十一月から開設された市民レコード教室は今回で二周年を迎へたので、去る十一日午後七時半から同中央公民館で二周年記念式を挙行、池松教育部長のあいさつのあと、第一回からのレコード教室の解説者山根銀五郎教授の功労に感謝する意味から花束が同氏令孃眞美子ちゃん（五つ）に贈られ、ついで毎回会場を生花の奉仕で飾つてきたかくれた善行者比嘉愛子さん（二二）に記念品の贈呈があり、和やかなふん囲氣のうちに式を終り、引きつづき映画『巨星メニユーヒン』を上映多大の感銘を與えた。（写眞は花束をうける山根眞美子ちゃん）


一寸の不注意　この大火!!
年末年始　火の用心
昨年の小川町大火（十二月二日）

市民の財産は86億円

固定資産評価台帳を覗く

市民の皆さんが所有される土地、家屋などの固定資產の適正な價格を決定する〃固定資產評價〃については九月の市政だよりでその必要な理由と方法などについて詳しく説明いたしましたので市民の皆さまには十分御承知のことと存じます。

そして十一月一日から十日間、市役所内で一般の縦覽に供しました絹帽子も期間中のある日、原稿用紙を掴んで同じ廳舍内の縦覽室をおとづれて、市民の應接に多忙な係の方にいろ〳〵伺つてみました以下はその折の一問一答

× × ×

問　決定しました市民の財產総額は？

答　そうですね、現在決定を見た査定額は償却資產を含めて大体八十五億九千万円ですね。これは市民の一世帯当りでは十四万六千円、市民一人当りでは三万六千円という数字になります。この内訳は 土地が 二十二万筆で三十七億円、家屋が三万九千戸の四十億円、償却資產が三千二百二十一人で八億八千万円であります。

問　そうしますと市民は平均一戸あたり十万三千円程度の住家に約六人の割で住まつていることになりますが一戸建てで十万三千円程度の家と申しますと疊数はせいぜい十枚位で相当窮屈な住生活であることが分りますねでは次に土地のことについて承りたいのですが。

答　宅地について申しますと最高は天文館角のタバコ屋の坪三万五千円で『正に土一升金一升』というところです。その次は天文館の繁華街映画館通りが平均二万円程度、納屋馬場が一万八千円から二万円、少し下つて朝日通り附近のビル街が七千円から一万円、最近價格の出てきたといわれる西駅前附近が六千三百円から九千円程度です。住宅街では上之平、中之平一帯が千六百円から千八百円、荒田方面が九百円から千二百円、薬師一帯が千円から千二百円。いちばん安いところでは伊敷地区皆房の山奥や東櫻島の有村町の熔岩附近で二十七円といつた所でしょう。

問　家屋については？

答　家屋の筆頭は何と申しても山形屋で一億七百九十七万八千円、次が鹿銀の一千九百二十九万四千八百円、以下鶴丸荘一千九十三万九千七百円、春日園五百十二万一千六百円の順になつています。その反面に戰後の非課税の一万円未滿のバラック建も相当数あつて、総戸数の約一割近くにのぼつている実狀であります。

問　償却資產のことをすこし御説明願えませんか。

答　市内には御承知の通り大工場がないため照国丸をもつ中川海運の約八千万円が第一位で、次が九州電力の五千万円以下日本ガス、日本デンプン、中央酒精の順となつています。

絹帽子　御多忙のところいろ〳〵と有難うございました。ではこれで失禮いたします。

新鹿児島名物アーケード式歩道

天文館高島屋デパートに実現

鹿兒島市の復興都市計画はいろいろの障碍を乗りこえて着々と進行を見つゝある。昨年度に於ては柿本寺信用組合ビルの移轉を完了して市民を驚かしたが、本年度に於てはそれ以上の難工事として從來から市民の話題を賑はしていた天文館高島屋デパートの電車通りに出つぱつた部分のくりぬき工事に着手した。此の工事は全国的にも珍らしいもので鉄筋五階建の高島屋デパートの一階をくりぬいて五本の柱で支えられた高さ三メートル幅四メートル長さ二十二メートルのアーケード式歩道を建設しようというのでありますアーケード（ARCADE）とは学名を有蓋街路と申しますが完成の曉には日本では一寸珍らしいアメリカの大都市に見られるような洒落れた近代的都市美が誕生する訳で新鹿児島名物として推称されることゝ思われます。なお工費は出つぱり部分を全部破壊するとなれば二千万円を要するのにくらべ、二十分の一の九十五万円ですむ計算で、十二月中には完成の予定。

憩

1月の
市民映画教室
米英共同映画 〃レベツカ〃
18・19・20・日正午より上映
中央公民館
料金　大人三〇圓　高校生二〇圓
中学生以下は必ず父兄同伴で!!

1月の
市民レコード教室
〃チヤイコフスキーとロシヤの音樂家達〃
解説　山根銀五郎先生
1月21日　后6時より
中央公民館
入場無料